

甲府市 観光ガイド

甲府遊歩

Kofu City
Guide Map



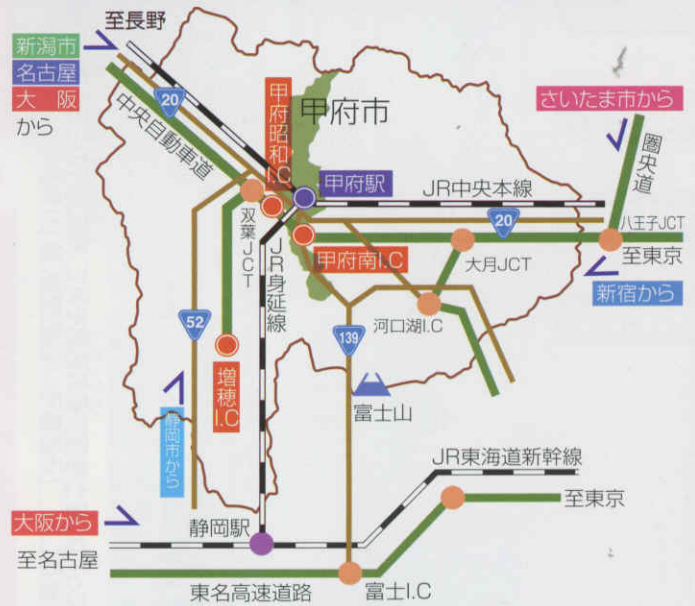
開府500年を迎えるこのまちの色彩は万華鏡のように鮮やかです。

カテゴリー別で発見しよう
(歴史・伝統特産/祭り)

エリア別で探訪しよう
(北部エリア/中部エリア/南部エリア)

甲府市インフォメーション

各都市から甲府市へのアクセス方法



新宿方面	電 車の場合	JR中央本線で約1時間30分
	高速バスの場合	2時間10分
	自動車の場合	中央自動車道で約2時間
静岡市方面	電 車の場合	JR身延線で約2時間
	高速バスの場合	3時間
	自動車の場合	国道52号線で約2時間30分
さいたま市方面	自動車の場合	圏央道で約2時間
新潟市方面	自動車の場合	北陸自動車道→中央自動車道で約4時間
名古屋方面	電 車の場合	JR中央本線で塩尻駅で乗換→約3時間
	高速バスの場合	4時間03分
	自動車の場合	名神高速道路→中央自動車道で約3時間
大阪方面	電 車の場合	JR東海道新幹線静岡駅で乗換→JR身延線で約5時間
	高速バスの場合	8時間49分
	自動車の場合	名神高速道路→中央自動車道で約5時間

このパンフレットに関するお問い合わせはこちらまで

甲府市役所 観光課
山梨県甲府市丸の内1-18-1
TEL.055-237-5702
FAX.055-227-8065

甲府市観光協会
山梨県甲府市丸の内1-18-1
TEL.055-226-6550
<http://www.e-kofu.com>

甲府市観光案内所
(甲府駅ビル、
びゅうプラザ隣り)
TEL.055-226-6978
※土日祭日の場合の問い合わせは、甲府市観光案内所をご利用下さい。



詳しくは甲府市ホームページから
こちらのバナーをクリックしてください。

ふるさと”甲府”を応援してください

「ふるさと納税」は、応援する自治体への寄附金です。

ふるさと応援サイト



詳しくは甲府市ホームページから
こちらのバナーをクリックしてください。

お申し込み
お問い合わせ先

甲府市役所 企画部総務課
TEL.055-237-5264 FAX.055-220-6938
E-mail kksoumu@city.kofu.yamanashi.jp

この印刷物は、環境にやさしいVOC（揮発性有機化合物）減量フリーを
主体とした植物油墨インキを使用しています。



2013年7月発行

武田信玄公略年表

- 1521年 武田太郎(後の晴信、信玄)、積翠寺で誕生。
- 1536年 晴信、三条公頼の娘と結婚。
- 1541年 晴信、家督を継ぎ、甲斐国主となる。
- 1546年 晴信、勅使三条西実澄らを招き和漢連句の会を開催。
- 1553年 第1回川中島の戦い。
- 1555年 第2回川中島の戦い。
- 1557年 第3回川中島の戦い。
- 1558年 信州善光寺の本尊を移し、甲斐善光寺造営に着手。
- 1559年 晴信、信玄と名乗る。
- 1560年 釜無川に信玄堤が完成。
- 1561年 第4回川中島の戦い。
- 1568年 信玄公、駿府城攻略。
- 1572年 信玄公、西上の軍を起し、三方ヶ原で徳川勢を撃破。
- 1573年 信玄公、信州伊那の駒場で病没。

甲府の歴史ロマンを辿る

戦国を駆け抜けた名将

武田信玄公

甲府の礎を築いた智将
「人は城」の国づくり

甲府の地名は「甲斐の国を司る府中」に由来する。信玄公の父・信虎が、現在の武田神社の地に館をおき、城下町を開いたのがはじまりで、いまから490年ほど前にさかのぼる。信玄公は、その2年後、大永元年(1521)11月3日、武田館の背後の要害山で誕生した。信玄公の理念は「治国安民」。「信玄堤」に象徴される治水事業をはじめ、新田開発、金山開発、地場産業を育成し、また、「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」を信条に、人を、城や石垣、堀にもまして信頼し、「和」を尊び、生涯、城をもつことはなかった。



MAP F-5

1つの花に8個の実
武田信玄公墓所
信玄公の命日は4月12日。「八房のウメ」は県の天然記念物で、1つの花に8個の実をつける。

■アクセス・住所/甲府駅北口からバス8分
護国神社入口下車徒歩10分
甲府市岩窪町

信玄公誕生の地から、歴史散策



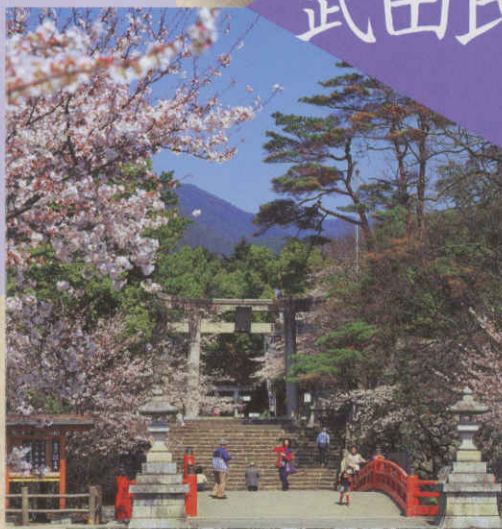
MAP F-4

信玄公誕生の地
積翠寺

武田館の背後に位置する要害城の麓。信玄公誕生の地で、産湯の井戸や自筆の「和漢連句」が残る。

■アクセス・住所/甲府駅北口からバス15分積翠寺下車徒歩10分
甲府市上積翠寺町984
☎055-252-6158(積翠寺)

武田氏館跡



武田神社

武田3代の居館跡
武田神社

武田信虎・信玄・勝頼の武田氏3代、60余年の館跡。躑躅(つつじ)が崎の先端部であることから「躑躅が崎館跡」とも呼ばれる。

■アクセス・住所/甲府駅北口から徒歩30分
甲府駅北口からバス10分
甲府市古府中町2611
☎055-252-2609(武田神社)
http://www.takedajinja.or.jp/



3つの曲輪から構成される武田氏館跡

信玄公が定め、信仰の地 甲府五山

甲府盆地北部の山に、信玄公が「甲府五山」とした臨濟宗の寺院。武田文化遺産を保存する



室町時代の唐様建築 **東光寺**
唐様と呼ばれる中国建築の仏教名「薬師堂」。室町時代の建立。庭園は池泉鑑賞式。

■アクセス・住所/JR身延線善光寺駅から
甲府市東光寺3-7-37

信玄公は政治家として、領国の経営に数多くの施策をこころじた。甲斐国における法律「甲州法度」もそのひとつ。五七ヶ条からなり、軍事、司法、行政にわたっている。たとえば「喧嘩両成敗」には、「喧嘩は理由のいかんを問わず、両方とも成敗する。ただし、相手がしかけてきてもがまんする者は処罰しない」とある。これは、今日の格言にもなっている。戦にあたっては「彼を知り己を知れば百戦あやうからず」と冷静、沈着であり、「後途の勝利」を望んだ。これは、戦とはいわずに勝つことや、武将としての名声を轟かすことではなく、戦の後の平和を前提にすべきだ、という理念にもとづいている。

戦国を駆け抜けた名将

武田信玄公

甲府の礎を築いた智将 「人は城」の国づくり

甲府の地名は「甲斐の国を司る府中」に由来する。信玄公の父・信虎が、現在の武田神社の地に館をおき、城下町を開いたのがはじまりで、いまから490年ほど前にさかのぼる。信玄公は、その2年後、大永元年(1521)11月3日、武田館の背後の要害山で誕生した。信玄公の理念は「治国安民」。「信玄堤」に象徴される治水事業をはじめ、新田開発、金山開発、地場産業を育成し、また、「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」を信条に、人を、城や石垣、堀にもまして信頼し、「和」を尊び、生涯、城をもつことはなかった。

東日本最大の木造建築

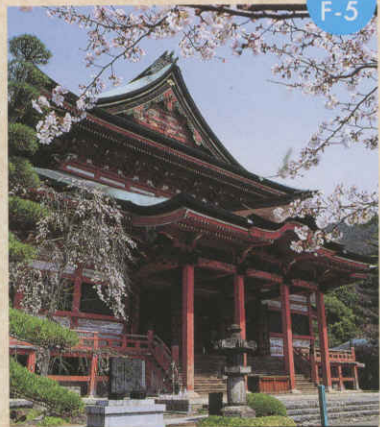
甲斐善光寺

川中島の合戦で兵火が信濃善光寺におよぶのをおそれ、信玄公が仏像や教典をこの地に移して建立。

■アクセス・住所/JR身延線善光寺駅から徒歩7分
甲府駅南口からバス15分善光寺
入口下車徒歩7分
甲府市善光寺3-36-1

☎055-233-7570(甲斐善光寺)

http://www.kai-zenkoji.or.jp/



朱塗りの善光寺山門



生涯にわたる 合戦の数、130余

信玄公の初陣は信州佐久・海ノ口城の戦いで16歳。以後、天下取り目前、信州・伊那において病に倒れる53歳まで、生涯における合戦の数は130余。もっとも名高い戦は上杉謙信との「川中島合戦」。天文22年(1553)から12年間に5度対決した。



武田二十四将の図

MAP F-4



信玄公誕生の地

積翠寺

武田館の背後に位置する要害城の麓。信玄公誕生の地で、産湯の井戸や自筆の「和漢連句」が残る。

■アクセス・住所/甲府駅北口からバス15分積翠寺下車徒歩10分
甲府市上積翠寺町984

☎055-252-6158(積翠寺)

武田二十四将

武田氏館跡

風林火山

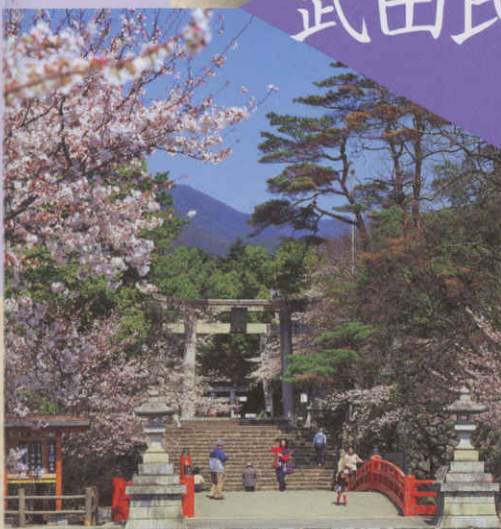
甲府五山

「風林火山」と 無敵の騎馬軍団

甲州軍団の軍旗「風林火山」は、「疾(はや)きこと風の如く 徐(しず)かなること林の如し 侵掠(しんりやく)すること火の如く 動かざること山の如し」という孫子の兵法。軍旗がひとたび揚がるや、騎馬軍団は風のごとく、敵陣に向かって疾走した。

信玄公が定めた 信仰の地 甲府五山

甲府盆地北部の山裾、信玄公が「甲府五山」と定めた臨濟宗の寺院。武田家の文化遺産を保存する。



武田神社

武田3代の居館跡 武田神社

武田信虎・信玄・勝頼の武田氏3代、60余年の館跡。躑躅(つつじ)が峠の先端部であることから「躑躅が崎館跡」とも呼ばれる。

■アクセス・住所/甲府駅北口から徒歩30分
甲府駅北口からバス10分
甲府市古府中町2611
☎055-252-2609(武田神社)
http://www.takedajinja.or.jp/



MAP F-5

室町時代の唐様建築 東光寺

唐様と呼ばれる中国建築の仏殿は、別名「薬師堂」。室町時代の建立で国文化財。庭園は池泉鑑賞式。

■アクセス・住所/JR身延線善光寺駅から徒歩10分
甲府市東光寺3-7-37



MAP F-4

三条夫人の墓 円光院

信玄公の正室・三条夫人の墓がある。夫人は京の公卿の名門・三条家の娘で、16歳で甲斐に嫁いだ。

■アクセス・住所/甲府駅北口からバス8分
護国神社入口下車徒歩12分
甲府市岩窪町500-1



MAP E-5

信虎夫人の菩提寺 長禅寺

信玄公の母・信虎夫人の菩提寺。信玄公が信虎を駿河に追放した後は、髪を切って仏門に入る。

■アクセス・住所/甲府駅南口から徒歩10分
甲府市愛宕町208
※朱印帳等の記載はご遠慮下さい。



MAP F-5

大池伝説と芭蕉句碑 能成寺

大池の伝説を偲ばせる「宿龍の碑」や、芭蕉の「名月や池をめぐりて夜もすがら」の句碑がある。

■アクセス・住所/JR身延線金手駅から徒歩10分
甲府市東光寺町2153



MAP E-4

武田勝頼の墓 法泉寺

信玄公の4男、武田家最後の当主・勝頼の墓がある。長篠の合戦で敗退し、天目山で最期を遂げた。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス15分
北中入口下車徒歩20分
甲府市和田町2595

信玄公誕生の地から、歴史散策

東日本最大の木造建築

甲斐善光寺

川中島の合戦で兵火が信濃善光寺におよぶのをおそれ、信玄公が仏像や教典をこの地に移して建立。

■アクセス/住所/JR身延線善光寺駅から徒歩7分
甲府駅南口からバス15分善光寺
入口下車徒歩7分
甲府市善光寺3-36-1

☎055-233-7570 (甲斐善光寺)
http://www.kai-zenkoji.or.jp/



朱塗りの善光寺山門



MAP F-5

小江戸、城下町甲府の繁栄

歌舞伎の上演

浮世絵師、俳人も滞在

甲斐国は武田氏滅亡後、織田信長の領国となり、本能寺の変の後は徳川家康の支配となる。甲府城の築城は、天下統一を果たした豊臣秀吉の命によりはじまり、浅野長政、幸長親子によって完成。慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いで以降は再び徳川の城となり、幕末まで存続した。江戸初期、甲府城は將軍家一門が城主であったが、宝永元年(1704)に柳沢吉保が城主となり、大名の城として整備され、城下町も繁栄した。甲州街道により江戸と甲府の往来も盛んで、歌舞伎の上演、浮世絵師、俳人も滞在し、「小江戸」と称される文化の地となった。



MAP E-5

甲府城跡 (舞鶴城公園)

鶴の舞う美しさから、舞鶴城の名で知られる。

■アクセス/甲府駅南口から徒歩3分

生涯にわたる合戦の数、130余

信玄公の初陣は信州佐久・海ノ口城の戦いで16歳。以後、天下取り目前、信州・伊那において病に倒れる53歳まで、生涯における合戦の数は130余。もっとも名高い戦は上杉謙信との「川中島合戦」。天文22年(1553)から12年間に5度対決した。

武田二十四将の図



二十四将

風林火山

「風林火山」と無敵の騎馬軍団

甲州軍団の軍旗「風林火山」は、「疾(はや)きこと 風の如く 徐(しず)かなること 林の如し 侵掠(しんりやく)すること 火の如く 動かざること 山の如し」という孫子の兵法。軍旗がひとつたび揚がるや、騎馬軍団は風のごとく、敵陣に向かって疾走した。



MAP F-4

三条夫人の墓 **円光院**
信玄公の正室・三条夫人の墓がある。夫人は京の公卿の名門・三条家の娘で、16歳で甲斐に嫁いだ。
■アクセス/住所/甲府駅北口からバス8分
護国神社入口下車徒歩12分
甲府市岩窪町500-1



MAP E-5

信虎夫人の菩提寺 **長禅寺**
信玄公の母・信虎夫人の菩提寺。信玄公が信虎を駿河に追放した後は、髪を切って仏門に入る。
■アクセス/住所/甲府駅南口から徒歩10分
甲府市愛宕町208
※朱印帳等の記載はご遠慮下さい。



MAP F-5

大池伝説と芭蕉句碑 **能成寺**
大池の伝説を偲ばせる「宿籠の碑」や、芭蕉の「名月や池をめぐりて夜もすがら」の句碑がある。
■アクセス/住所/JR身延線金手駅から徒歩10分
甲府市東光寺町2153



MAP E-4

武田勝頼の墓 **法泉寺**
信玄公の4男、武田家最後の当主・勝頼の墓がある。長篠の合戦で敗退し、天目山で最期を遂げた。
■アクセス/住所/甲府駅南口からバス15分
北中入口下車徒歩20分
甲府市和田町2595

もつと、もつと、甲府

網吉の側近・甲府城主 柳沢吉保



柳沢吉保自賛画像

5代將軍網吉の側近として大出世し、甲府城主となる。甲斐国武川の出身で先祖は甲斐源氏。

甲府城、三門の一つ 甲府城山手御門 (やまてごもん)

展示室があり、出土した瓦や陶磁器などを展示しています。



■開館時間/9:00am~5:00pm
■休館日/月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日、年末年始

「目には青葉」俳人 山口素堂



素堂像

寛永19年(1642)生まれ。甲府の魚町で育つ。「目には青葉山ほととぎす初鰯」の句で名高い。

鉄門 (くろがねもん)

約140年ぶりに復元された鉄門。

■開館時間/9:00am~4:30pm
■休館日/月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日、年末年始



※ 門は通年通行可

時の鐘

200年以上住民に時刻を知らせていた「時の鐘」を再現。寛文年間(1661年~1673年)今の中央2丁目あたりに設置されていたが明治時代初期に取り壊された。

■アクセス/住所/甲府駅北口から東へ徒歩1分・甲府市丸の内1-1-25



藤村記念館

国の重要文化財に指定されているこの建物は、山梨県令の藤村紫朗が積極的に奨励した擬洋風建築で、県内では藤村式建築と呼ばれています。もとは学校の校舎として、明治8年に建てられたもので、現在は、藤村紫朗の遺品や教育関係の資料を展示しています。

■アクセス/住所/甲府駅北口から徒歩1分
甲府市北口2-2-1
☎055-252-2762



■開館時間/9:00am~5:00pm
■休館日/月曜日、年末年始
※入場無料
※月曜日が休日の場合は、火曜日が休館日

MAP E-5

歴史が洗練させた逸品

甲州の歴史、自然風土のなかから生まれ、甲州人の知恵によって育まれてきたふるさとの名産品。武田信玄公にまつわる伝統工芸。江戸時代から「甲州八珍果」と讃えられてきたブドウをはじめとする果物。水晶の産地であったことから発展した宝飾品。海のない山国の知恵から生まれた海産物。郷土料理のほうとう、甲州街道の名物菓子。いずれも甲州弁の語り口、親しさ、素朴さが身上だ。



世界に誇る宝飾の街 水晶細工にはじまる伝統

宝飾品

渓谷美日本一の御岳昇仙峡は、かつて日本で有数の水晶原産地。加工技術も江戸期にはじまる。今日、甲府は世界屈指の「宝飾の街」。ジュエリーの出荷額は全国の3分の1を占める。

【お問い合わせ】

山梨県水晶宝飾協同組合 TEL055-232-7571

URL <http://www.j-gate.net/~yja/>

山梨県水晶美術彫刻協同組合 TEL055-263-6951

伝統技術の 鬼末



鹿革に漆の紋様 印度伝来の工芸品

印伝

インドから伝来したことからこの名がある。昔からの口伝により、1頭分の鹿革を松脂でいぶしながら、深い色調を生み出し、漆によって紋様を染めていく。吸湿性と通気性に富み、耐久力がある。

【お問い合わせ】

甲府印伝商工業協同組合 TEL055-220-1660

甲府駅北口ペDESTリアン・デッキ内の新名所
クリスタルアース
カットを施した約7千個の水晶による直径1.2mの球体を天井から吊るしたモニュメント。その中には、約千個のアメジスト系の石で葡萄のイメージを造形し、15分間隔で鮮やかなサウンドが響き渡る。

自然風土の恵みと、 伝統技術の傑作

自然風土の 味



麺と野菜と味噌味 身近な郷土食

ほうとう

武田信玄公の「陣中食」といわれ、甲州の郷土食。煮込みうどんの一種で、味噌で味付けた汁のなかに、季節の野菜ともども、生の麺を煮込む。栄養価が高く、健康食。カボチャとの取り合わせが絶妙。

【お問い合わせ】山梨県麺類工業協同組合
TEL055-233-5188



市内蕎麦店 が考案した独自の食文化 甲府鳥もつ煮

昭和25年頃に甲府市内の蕎麦店で考案された、鶏の砂肝、ハツ、レバー、さんかん（産まれる前の卵）を甘く濃厚な醤油ダレで照り煮した料理。温かいごはんとの組み合わせは絶品。

【ホームページ】みなさまの縁をとりもつ隊
日級ご当地グルメの祭典
第5回B-1グランプリゴールドグランプリ受賞
2011関東B-1グランプリゴールドグランプリ受賞
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~torimotsu/>



海なし県の海産物 知恵が育んだ名産品

煮貝

あわびを煮て、醤油漬けにした加工品。江戸時代、伊豆のあわびを甲州に届けるために考案されたのが、煮て送るという方法。道中、馬の背で目を重ねるうち、あわびはひとさき味を増したという。

【お問い合わせ】山梨県水産物商業協同組合
TEL055-228-1755



産地で食べるのが一番 善光寺・ぶどう

善光寺の周辺は、昔から「善光寺のぶどう」と名指しされるぶどうの産地。愛宕山東麓の日当たりのいい小扇状地で、善光寺、東光寺、能成寺など歴史ある寺をぶどう棚が埋め、景観にもすぐれる。

【お問い合わせ】甲府ぶどう郷観光協会
TEL055-254-0125（愛宕園内）



品種も豊富 小曲町・いちご

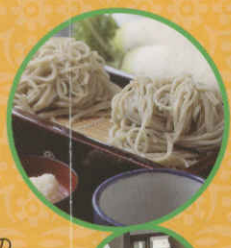
小瀬スポーツ公園のほど近く、小曲町は山梨県最大の「いちごの里」。日本有数の日照時間に恵まれ、また、各農家が独自の栽培にこだわり、品種も豊富で、味わいを競う。いちご狩りは1月から5月。

【お問い合わせ】JA甲府市
TEL055-223-9609



フルーツ感覚の甘さ 甲斐・とうもろこし

フルーツ感覚で食べられると人気。山梨県一の生産量を誇り、先進の栽培技術で、関東の産地のなかでも一足早い出荷を実現した。毎年6月上旬には「風土記の丘もろこしフェア」を開催。なかみちの美味しいスイートコーン「さみひめ」も直売！！



御岳昇仙峡の味 薬味はネズミ大根

御岳蕎麦

金桜神社の参詣人にもてなされ、江戸の見聞録「裏見寒話」に「その形銀の如し、蕎麦の辛味に用ゆ」と記された甲州名物。昇仙峡の清水と、蕎麦、薬味のネズミ大根が、格別な味をかもしだす。

もっとうと、 甲府

太陽の里の果物と野菜 甲州八珍果

甲州は全国でも日照時間の長い土地柄。果物、野菜の栽培に適していることから、江戸のまちで「甲州八珍果」と評判をとった。「甲州八珍果」とは、ぶどうをはじめとする特産品。現在では、果物も野菜も品種を増やし、旬の味覚を提供している。



日本初は甲府生まれ 甲州ぶどうと「白」 ワイン

甲府は、日本のワイン誕生の地。山梨原産のぶどう「甲州種」が白ワインに最適で、現在ワイナリーは約80社、醸造量は全国の約40パーセント。世界のワインコンテストでも数々の賞に輝く。

【お問い合わせ】
山梨県ワイン造り組合
TEL055-233-7306



夏の金峰山



信玄公祭り▶

甲府の代表的な祭り

5月 「正ノ木稲荷祭り」甲府市太田町 稲荷神社 2日～5日
江戸時代からの祭りで、「どっこいしょの正の木さんは5月の3日」と親しまれ、植木市がたち、露店が賑やかに並ぶ。

7月 「七夕祭り」市内中心部 5日～7日
色とりどりの吹き流しや飾りが、駅前や中央商店街を彩る。市民の憩う夏の風物詩。

10月 「甲府大好きまつり」
市内中心部 第3土曜日
市内中心部を舞台に祭りパレードが繰り広げられる。自由な振り付けで観客を魅了する「ビートtoビート」で最高潮に達する。



甲府大好きまつり

11月 「甲府えびす講まつり」中央商店街 23日
商売繁盛の「恵比寿神」をおまつりする行事。正月仕度の買物で賑わい、パレード、神輿、山車行列などが繰り出す。

2月 「大神宮祭」市内中心部 2月3日
「だいじんさん」の名で親しまれる。横近習町大神宮、柳町大神宮は、商売繁盛、家内安全を祈願する人で賑わう。

「湯村の厄地藏さん」湯村 塩澤寺 13日～14日
弘法大師に由来する厄地藏さんは、年に1度だけ願いを聞いてくれるという。厄年の数だけ団子を供え、お参りする。

4月 「信玄公祭り」市内中心部 上旬
武田信玄公の遺徳を讃える県内最大の祭り。武田24将が率いる甲州軍団、騎馬30頭、武者約1600名が出陣。

「武田24将騎馬行列」武田神社～遊亀公園 12日
信玄公の命日、武田神社例大祭と併せて開催。一般参加者による武田24将騎馬行列、神輿などが市内を行進する。

「天津司の舞」小瀬町 天津司神社 上旬の日曜日
国指定民俗文化財。甲府盆地の湖水伝説を伝える。水辺に住んでいた神が姿を人形に変えたとい「おなり道」を御幸する。

「永泰寺花祭り」古閑町 永泰寺 8日
お釈迦様に甘酒を注ぎ、誕生日をお祝いする。釈迦像は県指定文化財。安産と雷よけの御利益があるという。



永泰寺花祭り

四季の暦は、 祭りと花とともに

ふるさとのこころの伝承
地域の誇り、エネルギー

●御岳昇仙峡
10月下旬～11月中旬
日本一の渓谷美、奇岩・奇石を染め上げる。

●荒川ダム周辺
10月下旬～11月中旬
湖畔に映し出される山岳地帯の雄大な彩り。

●板敷渓谷
10月下旬～11月中旬
清流と大小の滝。秘境ならではの色鮮やかさ。

●芦川渓谷
10月下旬～11月中旬
清流と紅葉のコントラスト。

●舞鶴城公園 6月中旬～下旬
県指定史跡である甲府城跡。
●善光寺 6月中旬～下旬
●武田の杜 6月中旬～7月上旬
1,000株のあじさいが咲く名所。

●不老園 2月上旬～3月下旬
20種以上、約3,200本の梅が園内を彩る。

●舞鶴城公園 4月上旬
150本の桜をたどりながら、古城を散策。

●武田神社 4月上旬
桜並木を歩いて武田氏館跡の史跡巡り。

●護国神社 4月上旬
ソメイヨシノ、シダレザクラなど約200本。

●要岩山中区配水施設
山裾古の道みはらし台付近
4月上旬
巨木約70本。桜の時期だけ開放される。

●小瀬スポーツ公園 4月上旬
各種桜が約550本。メインストリートの並木は杜鰐。

●金桜神社 4月下旬～5月上旬
金の成る木の「鬱金(うこん)の桜」が名高い。

●右左口の里 4月上旬～中旬
雄大な自然に囲まれて桜を満喫。

●慈恩寺 4月下旬～5月上旬
樹齢200年を超える。
県の天然記念物指定。

●塩部寿のフジ 4月下旬～5月上旬

●御岳昇仙峡 4月中旬
ヤマザクラや新緑とともに、鮮やかに渓谷を彩る。

紅葉

アジサイ

四季の花と紅葉

ミツバツツジ

梅

桜

フジ

冬の昇仙峡



竹日向町の
麦まきもみじ▶

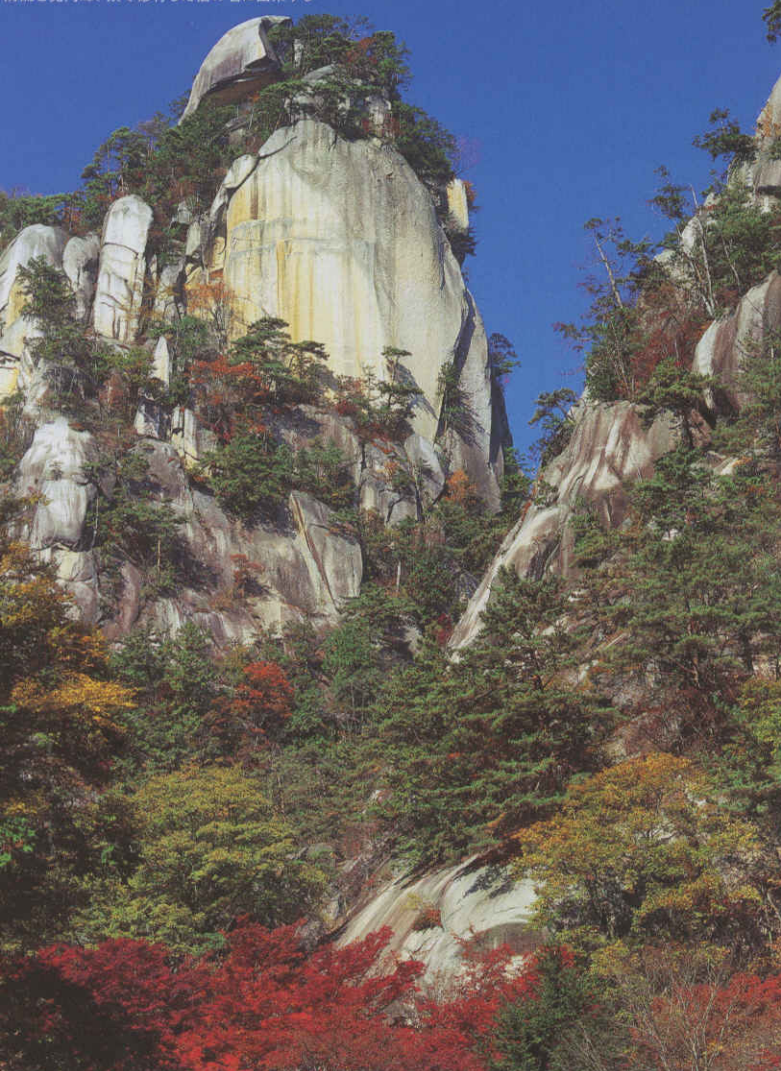


甲府北部エリア Kofu the northern area

山岳信仰の地・ 金峰山千変万化の源流の旅

甲府市のふところを流れる荒川の源流

清流と覚円峰、頂で修行した僧の名に由来する

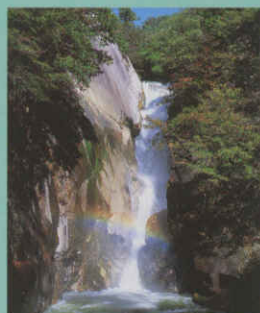


日本一の渓谷美・平成の名水百選・平成百景

御岳昇仙峡

MAP E-2

渓谷美を讃えられ、日本の名勝として名高い御岳昇仙峡は、長潭橋に架かる天神森から仙娥滝までの約4キロ。渓谷探勝には、名物のトテ馬車に乗って能泉まで辿り、そこから歩いて仙娥滝まで散策するのが一般コース。いまから170年ほど前、滝上の長田円右衛門が御岳新道を計画、周辺の30カ村に呼びかけ、10数年もの歳月を費やして完成させた。渓谷の奇岩・奇石は、花崗岩の岩肌が荒川の流に削り取られ、長い年月の間に露出した大自然の芸術。岩肌に群生する松、ツツジ、モミジとあいまって、四季折々、幽谷の旅情に誘う。仙娥滝は高さ30メートル、3段に落下する大滝で、しぶきを上げる滝壺は間近だ。



秘境・仙娥滝

もっと、もっと、
甲府 渓流沿いの散策
奇岩・奇石を
名付けて楽しむ

夢の松島、登竜岩、ねこ石、大砲岩。いずれも花崗岩が清流に浸食されてできた奇岩・奇石。まだまだ、名付けられるのを待っている奇岩・奇石はたくさん。



大佛岩



ぶぐ石



熊石

■アクセス/甲府駅南口からバス50分
☎090-8648-0243(昇仙峡観光協会)
URL <http://www.shosenkyo-kankouyokai.com>

大自然の原点、奥行きを訪ねて



山伏達の山岳道場

金桜神社

MAP E-1

金峰山の里宮で、修験者や山伏の山岳道場としての歴史をもつ。武田氏の加護を受けて栄え、ゆかりの文化遺産が寺宝として残る。

■アクセス/住所/甲府駅南口からバス60分金桜神社
下車・甲府市御岳町2347
☎055-287-2011(金桜神社)



大小の滝めぐり

板敷渓谷

MAP F-1

荒川への合流点から、板敷川をのぼる約1キロ、20分のコース。屏風のような絶壁、岩の上を走る清流。数々の滝を見ながら雄大な自然を満喫。要・運動靴。

■アクセス/甲府駅南口からバス50分 昇仙峡滝上
車徒歩50分
荒川ダム駐車場から徒歩15分



秩父山系の清流を集める

荒川ダム

MAP E-1

甲府市民を守る多目的ダム。現地の土や石を活用したロックフィル工法が特徴。延べ38万人を動員、8年の歳月をかけて完成。ダム周辺には、春は桜、秋は色とりどりの紅葉が楽しめる。

■アクセス/住所/甲府駅南口からバス50分昇仙峡滝上
下車徒歩30分・甲府市川窪町浦の山972
☎055-287-2006



山梨の伝統工芸と歴史を学ぶ

長田円右衛門伝承館

MAP E-1

昇仙峡に新道を拓いた長田円右衛門。渓谷美や絶景が世に知られる礎となった歴史と伝統工芸を今に伝える。

■アクセス/住所/甲府駅南口からバス50分昇仙峡滝上
下車徒歩4分・甲府市猪狩町385-1
☎055-287-2228

市営リゾート施設 マウントピア黒平

金峰山 MAP

黒平町は豊かな自然環境につつまれた、甲府の最北の地。木造10棟のコテージからなる滞在型の市営リゾート施設で、自然散策の拠点。

■住所/甲府市黒平町623-1
☎055-287-2201(マウントピア黒平)
URL <http://business4.plala.or.jp/kurobera/>

ギネスブックに掲載 昇仙峡 影絵の森美術館

MAP E-1

影絵の魅力は、光を透かして見た鮮烈な光の美しさ、透明感。巨匠・藤城清治氏の監修設計。

■アクセス/住所/甲府駅南口からバス50分昇仙峡滝上
下車・甲府市高成町1035-2
■営業時間/9:00am~5:00pm
☎055-287-2511
URL <http://www.kageenomori.jp/>

遊具の揃った自由広場

愛宕山こどもの国・県立科学館

MAP F-5
コース1 MAP

太陽のもと、大自然に親しみ、自由に遊べる子どもの施設。県立科学館ではプラネタリウムで満天の星空を堪能できる。



■アクセス/住所/甲府駅北口からバス(土・日のみ運行)20分
県立科学館下車・甲府市愛宕町358-1
■営業時間/9:00am~5:00pm
(但し、7月8月は6:00pmまで)
☎055-253-5933(愛宕山こどもの国)
URL <http://www9.plala.or.jp/atagoyama/>



■アクセス/住所/愛宕山こどもの国と同じ
■営業時間/9:30am~5:00pm(夏期)6:00pm
■休館日/月曜日(休日の場合はその翌日)
☎055-254-8151(山梨県立科学館)
URL <http://www.kagakukan.pref.yamanashi.jp/>



ふるさとの名産、伝統技術

山梨県地場産業センター かいてらす

MAP F-5

宝石、貴金属、ワイン、甲州印伝、煮貝、日本酒、ニット製品など、地場産品を展示。お土産は約6000アイテム。

■アクセス/住所/甲府駅南口からバス15分善光寺入口下車徒歩15分
甲府駅北口からバス9分(土・休日のみ運行、ただし7月21日~8月19日毎日)・甲府市東光寺3-13-25
■営業時間/9:00am~5:00pm
■休館日/第4火曜日(祝日の場合は翌日)
☎055-237-1641(山梨県地場産業センターかいてらす)
URL <http://www.kaiterasu.jp/>

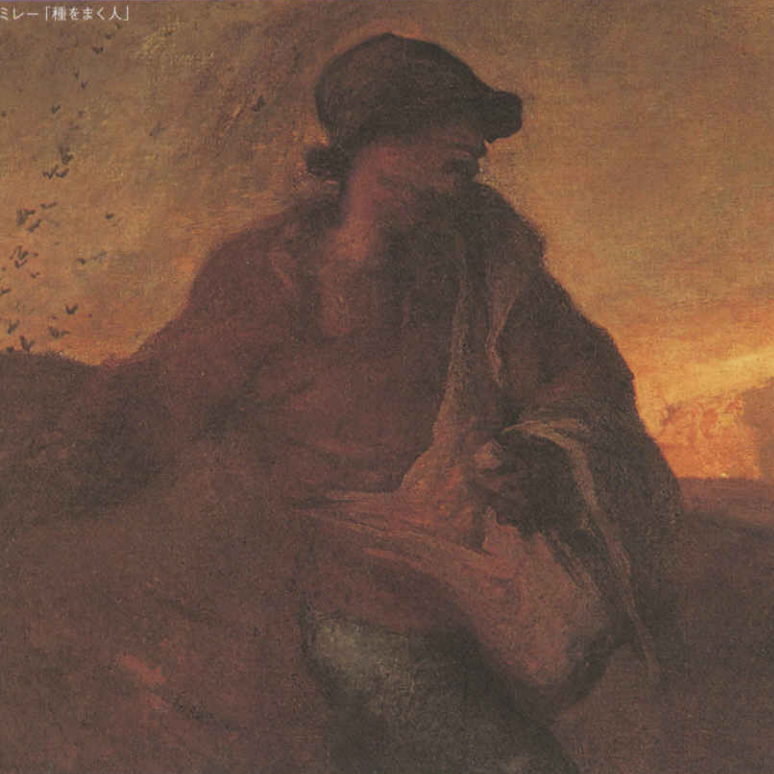


甲府中部エリア Kofu the central area

武田信玄公誕生の地 愛称「ミレーの美術館」

歴史と現代が共存する表情の豊かさ

ミレー「種をまく人」



ミレーの代表作を鑑賞

山梨県立美術館 (芸術の森公園)

MAP D-5

山梨県立美術館は、山梨県の県木・カエデをはじめ、ケヤキ、クス、シラカバなどにかこまれたワインカラーのレンガ造り。正面玄関前庭にはヘンリー・ムアのブロンズ「四つに分かれた横たわる人体」が、四季の富士山を背景に、重量感あるたたずまいをみせる。ミレーの代表作である「種をまく人」「落ち穂拾い、夏」「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼」など約40点をはじめ、2009年には、開館30周年を記念して「眠れるお針子」を購入し、ミレーやバルビゾン派の画家たちの作品を数多く展示し、「ミレーの美術館」として親しまれる。ミレー (1814—1875) は、田園の農耕生活を描いたことで知られ、バルビゾン派の画家。山梨県ゆかりの作品や、日本を代表する芸術家の秀作も所蔵している。



ヘンリー・ムア「四つに分かれた横たわる人体」

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス15分山梨県立美術館前下車・甲府市貫川1-4-27

☎055-228-3322 (山梨県立美術館)

■営業時間/9:00am~5:00pm

■休館日/月曜日(休日の場合はその翌日)

URL <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

もつと、もつと、
甲府

四季の花と芸術を楽しむ 芸術の森公園

8ヘクタールの敷地に県立美術館、県立文学館、ばら園、ぼたん園、梅園などがある。芝生が広がりピクニックにも最適。富士山、南アルプスが一望できる。



富士山の美しい芸術・文化の拠点



山梨の文学風土を紹介

山梨県立文学館 (芸術の森公園)

MAP D-5

文学風土を案内するコーナー、山梨出身ゆかりの文学者の紹介コーナー、芥川龍之介コーナー、飯田蛇笏コーナーなどがある。甲府に滞在した太宰治の草稿・ノート類も展示されている。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス15分山梨県立美術館前下車・甲府市貫川1-5-35

■営業時間/9:00am~5:00pm

■休館日/月曜日(休日の場合はその翌日)

☎055-235-8080 (山梨県立文学館)

URL <http://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

もつと、もつと、
甲府



芥川龍之介 (1892~1927)

東大在学中に執筆した「鼻」が夏目漱石の推賞を受け、新しい文学世代の旗手となる。旧制第一高等学校入学後に甲府を訪れ、酒折の宮、太田町公園、昇仙峡などを散策した。



飯田蛇笏 (1885~1962)

生涯を境川で過ごし、山国の自然や生活を詠い続ける。旧制甲府中学に通う。俳句雑誌「キララ」の主筆者、その後主宰となり誌名を「雲母」と改め、発行所を甲府に移す。



樋口一葉 (1872~1896)

古典文学を学び、貧乏のなかで作家をめざす。封建的な社会に生きる女性の運命を書くことに短い生涯を傾けた。両親が山梨出身。小説「ゆく雲」に甲府の描写がある。

写真：山梨県立文学館所蔵

甲州夢小路 小さな蔵の美術館

MAP E-5

1階は18世紀から20世紀初期のアンティークジュエリーを展示。2階は当館が所蔵する草間弥生、ピカソ、シャガール、岡本太郎、竹久夢二などの版画作品を期間に分けて展示しています。

■アクセス・住所/甲府駅北口から東へ徒歩1分・甲府市丸の内1-1-25

■営業時間/10:00am~6:00pm(季節変更あり)

☎055-298-6300

URL <http://www.koshuyumekouji.com>

連歌発祥の地 酒折宮

MAP F-5

日本武尊が東征の折りに立ち寄ったと「古事記」「日本書紀」にある。ここで御火焼の老人と交わした歌が、連歌のはじまり。境内には本居宣長や山県大弼の碑もある。樋口一葉の「ゆく雲」にも登場。

■アクセス・住所/JR中央本線酒折駅から徒歩3分・甲府市酒折3-1-13

☎055-231-2690(酒折宮)

地場産業の企業団地 アリア・ディ・フィレンツェ

MAP G-6

日本語で「フィレンツェの香り」。ジュエリー、甲州印伝など、山梨の代表的な地場産業を集めた企業団地。見学もできる。(要予約)

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス20分・山梨県青少年センター前下車・甲府市川田アリア205

☎055-220-1600(組合事務局)

URL <http://www.aria.or.jp/>

約3,200本の梅の花 不老園

MAP F-5

中国の故事「不老の門を入り奇岩・名木の間を逍遙して長生の庵に至る」が名の由来。20種類以上、約3,200本の梅が彩る。

■アクセス・住所/JR中央本線酒折駅から徒歩5分・甲府市酒折3-4-3

■営業時間/9:00am~5:00pm

☎055-233-5893

■期間/2月~3月

URL <http://www.furuoen.jp/>

日本で4番目の開設 甲府市遊亀公園付属動物園

MAP E-6

公立としては上野、京都、天王寺に次ぐ全国で4番目の開設。レジャーパンダをはじめ50種、約300点の動物が飼育されている。動物たちとの「ふれあいコーナー」も人気だ。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス15分・甲府市太田町10-1

■営業時間/4月~10月(9:00am~5:00pm)

11月~3月(9:30am~4:30pm)

■休園日/毎週月曜日(休日の場合はその翌日)・年末年始

☎055-233-3875(市立動物園)

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

日本唯一の伝承革工芸品 印傳博物館

MAP E-5

甲州印伝は日本で唯一伝承されている革工芸品。江戸から昭和に至る古典作品、復元模造品、現代作品を保存、展示する。

■アクセス・住所/JR中央本線甲府駅から徒歩15分・甲府市中央3-11-15

■営業時間/10:00am~5:00pm

■休館日/年末年始 展示替え期間

☎055-220-1621(博物館専用)

URL <http://www.inden-ya.co.jp/museum/main.html>

スポーツと憩いの空間 小瀬スポーツ公園

MAP F-7

山梨中銀スタジアム(陸上競技場)や野球場、体育館などが充実。リリーグ・ワンフォーレ甲府のホームスタジアム。桜550本が植えられ、花の名所。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス30分・甲府市小瀬町840

☎055-243-3111(山梨県体育協会)





甲府南部エリア *Kofu the southern area*

風土記の丘・曾根丘陵 塩のきた道、中道往還

石器や縄文土器から聞こえてくる声



3万年前、太古の時代の人と暮らし

甲斐風土記の丘 曾根丘陵公園

MAP F-8

曾根丘陵は3万年前の、太古の息吹を感じることできる場所。甲府盆地で最古の立石遺跡、米倉山遺跡群、縄文時代の大集落土野原遺跡などがあり、先人の暮らしを知ることができる。ことに名高いのは東山古墳群で、上の平遺跡の方形周溝墓群・銚子塚古墳・丸山塚古墳・大丸山塚古墳などから構成されている。とりわけ銚子塚古墳は、均衡のとれた美しい姿で、設計施工の技術に感嘆させられる。公園内の県立考古博物館では、石器を使った狩の暮らし、縄文土器や住居、稲作のはじまり、権力者と古墳、奈良・平安時代の律令村落や、国分寺跡からの出土品、中世の村や館の暮らしなどをたどることができる。



■アクセス・住所/甲府駅南口からバス30分
考古博物館前下車甲府南ICからすぐ

☎055-266-5854 (パーベキュー場)

☎055-266-5286 (テニスコート)

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/index.html>

遙かな時を超えて

県立考古博物館

MAP F-8

山梨県全域からの遺跡を数万点収蔵。常設展示室では、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代・歴史時代の出土品を展示。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス30分山梨県立考古博物館
下車 甲府南ICからすぐ
甲府市下曾根町923

■営業時間/9:00am~5:00pm

■休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(日曜・祭日を除く)

☎055-266-3881 (山梨県立考古博物館)

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

大らかな息吹を感じる丘陵

米倉山太陽光発電所

PR施設「ゆめソーラー館やまなし」

MAP E-9

太陽エネルギーが地球環境へ及ぼす影響や太陽エネルギー利用の状況について学ぶことができます。

■アクセス・住所/甲府南ICから車で10分
甲府市下向山町3443-1

■営業時間/9:30am~4:30pm

(入館は4:00pmまで)

■休館日/毎週月曜日(祝日は除く)、

休日の翌日(日曜日・祝日は除く)

(4/30~5/5までは開館)、

12月29日から1月3日

■入館料/無料

■駐車場/普通車23台、大型バス3台

☎055-269-6685



もつと、もつと、 甲府

全国でも貴重な
集中地帯

MAP G-12

清流のさわやかな休日

寺川グリーン公園

境川溪谷の自然を散策し、釣り、キャンプなどが楽しめるアウトドアの別天地。ログハウス、バーベキューなどの施設がある。

■アクセス・住所/甲府南ICから車で30分 甲府市古閑町2992-21

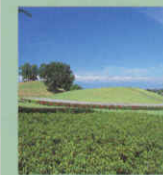
■営業時間/5~10月の土・日曜・祝祭日(夏休み期間中は連日)

9:00am~5:00pm

☎0555-88-2330

銚子塚古墳・丸山古墳

銚子塚古墳は長軸167メートルの巨大古墳。竪穴式石室から漢式鏡5面をはじめ数多くの副葬品が発見された。銚子塚古墳、丸山古墳ともに国史跡の指定。周辺は全国的にも大規模な古墳の集中地帯。



銚子塚古墳



丸山古墳

マスのつかみどり

右左口の里

MAP F-9

マス、コイの釣り堀「富士五湖」、バーベキュー、パンガローの施設がある。民芸館には、山崎方代に関するコーナーもある。

■アクセス・住所/甲府駅南口から車で30分

甲府市中畑町1132

■休業日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

☎055-266-4680

もつと、もつと、 甲府

中道往還 の面影 右左口宿



南北に約2キロ、間口4間2尺、約8mの屋敷割りで、整然とした町並み。中道往還は駿河の魚を甲府へ運ぶ道でもあった。

右左口出身 の歌人 山崎方代 (1914~1985)



中道に生まれ、口語を生かした自由な詠い口で人生やふるさとへの思いを詠む。自然と酒を愛し、その書にも独特な風格がある。



滝戸山登山道入り口

御殿滝

MAP F-10

江戸時代まで信仰の地・霊場として栄え、修験僧が滝に打たれて修行した。いまは清流と親しむ避暑地として愛される。

■住所/甲府市中畑町



樹齢500年の大イチョウ

円楽寺

MAP F-9

山岳仏教、修験道の開祖・役行者が、富士山への出発点として開いた。境内の大イチョウは樹齢500年で県指定天然記念物。

■アクセス・住所/甲府駅南口からバス30分七笠入口下車
徒歩15分・甲府市右左口町4104



甲府南ICとなりの直売所

風土記の丘農産物直売所

MAP F-8

特産のとうもろこしをはじめ、季節の野菜や果物などの農産物や土産品の販売をしている。6月中旬には「もろこしフェア」、8月上旬には「フルーツ祭り」を開催。

■アクセス・住所/甲府南IC隣り

甲府市下曾根町1063-1

■営業時間/9:00am~6:00pm

■休業日/火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

☎055-266-3858 (風土記の丘農産物直売所)



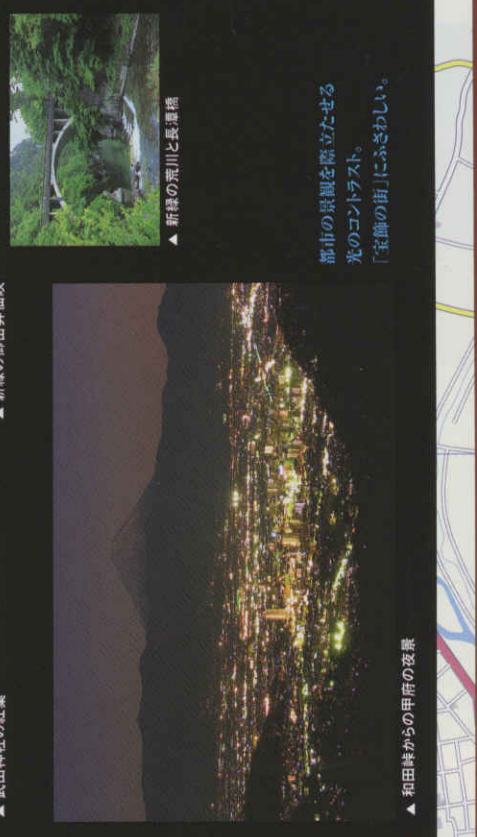
▲ 愛宕山からの富士
▲ 小瀬スホーツ公園の紅葉本
▲ 小瀬スホーツ公園の紅葉本
山岳信仰の地だった甲斐の町。
人の求める「山祭水明」の原点がある。
▲ 古閑地域からの南アルプス

▲ 武田神社の紅葉
▲ 新緑の御岳野山英

▲ 武田神社の紅葉
▲ 和時村からの甲府の夜景

▲ 武田神社の紅葉
▲ 和時村からの甲府の夜景

▲ 武田神社の紅葉
▲ 和時村からの甲府の夜景



甲府の登山・ハイキングコース

山岳信仰の地として開かれた伝説の甲斐の山々。
四季折々、自然と対話するハイキングの道。

所要時間(上り)
約3時間

ルート
1

金峰山コース



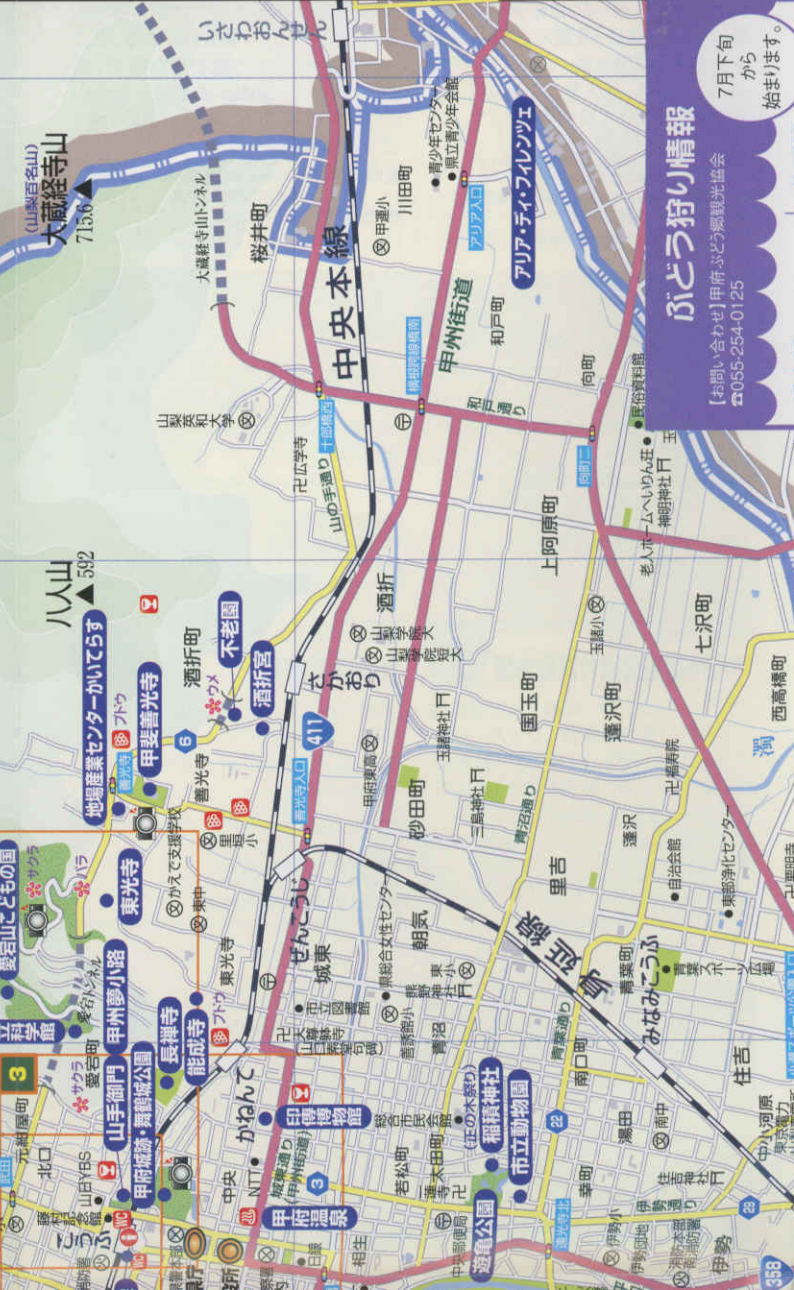
ワイナリー情報

(株) サトヤ醸造場 甲府市北口3-3-24 ☎055-253-4114 ワイン蔵見学と、シヨップ、 レストラン(10月オープン予定)	(株) 信玄ワイン(株) 甲府市中央5-1-5 ☎055-233-2579
ワイナリー 甲府市酒折町1338-203 ☎055-227-0511 工場見学とシヨップ	(株) 甲府 ワインポート 甲府市桜井町47 ☎055-233-4427

びどう狩り情報

【お問い合せ】甲府びどう郷観光協会
☎055-254-0125

7月下旬
から
始まります。





金峰山は標高2,599m。平安時代に開かれ、山頂の五丈岩に権現がまつられて、修験道の道場となった。甲府の北の鎮め。麓から荒川の源流が発する。

- 大池峠 (1:40) →
- 朝日岳 (1:20) →
- 金峰山山頂 (1:50) →
- 水晶峠 (1:40) →
- 林道 (1:30) →
- 森林浴広場

ルート2 帯那山コース

所要時間(上り) 約3時間

春は桜、ニリンソウの群落、初夏はアヤメ、秋にはマツムシノウ、紅葉の名所。

- 上帝那バス停 (0:20) →
- 脚気石神社 (0:30) →
- 大堰堤 (0:40) →
- 尾根取り付き点 (1:30) →
- 帯那山 (0:15) →

ルート3 滝戸山コース

所要時間(上り) 約3時間

曾根丘陵の後方にそびえ、里山ながら自然の豊かさが「やまなしの森百選」。

- 滝戸山登山口 (2:00) →
- 滝戸山 (3:00) →

ルート4 歌川広重も登った羅漢寺山コース

所要時間(上り) 約2時間30分

昇仙峡ロープウェイで気軽なハイキング。山梨百名山の30座を展望できる。

- 天神森バス停 (1:00) →
- 外道ノ原 (0:30) →
- 白山 (0:35) →
- 白砂山 (0:30) →
- 羅漢寺山頂

ルート5 王岳コース

所要時間(上り) 約4時間10分

御坂山塊の西、王岳は1,623m。富士山を正面に、眼下に樹海、西湖、本栖湖。

- 精進湖バス停 (0:30) →
- 阿難坂(女坂) (1:00) →
- 五湖山 (0:50) →
- 王岳 (2:10) →
- 精進バス停 (0:30) →
- 阿難坂(女坂) (1:00) →
- 三芳分山 (0:45) →
- 釈迦ヶ岳 (1:45) →

ルート6 三方分山・釈迦ヶ岳コース

所要時間(上り) 約1時間45分~3時間30分

3つの村の境界、三方分山。甲府から三角に鋭く突き出して見える釈迦ヶ岳。

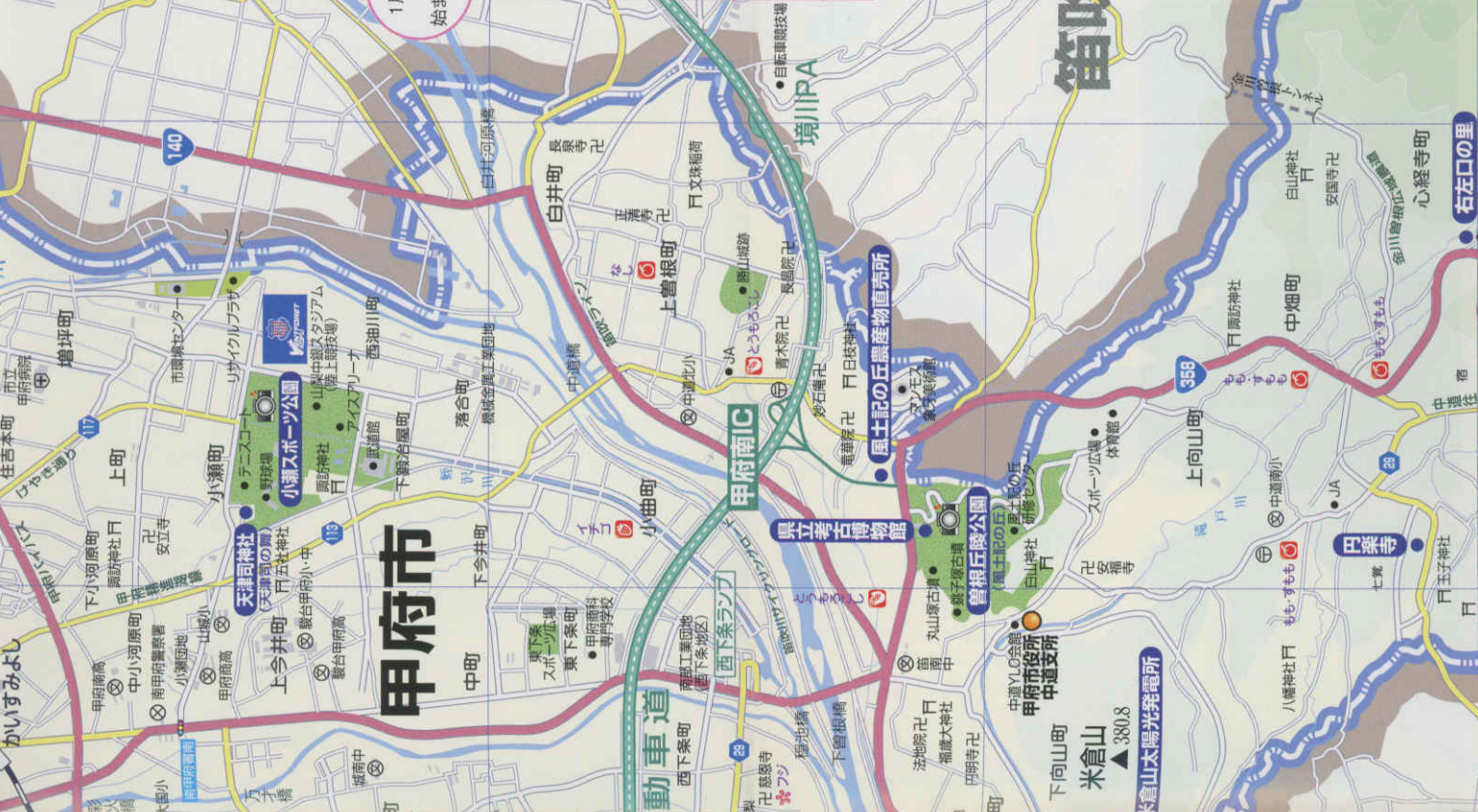
- 精進湖バス停 (0:30) →
- 阿難坂(女坂) (1:00) →
- 三芳分山 (0:45) →
- 釈迦ヶ岳 (1:45) →

- 金手園**
甲府市東光寺1-1-2
☎055-251-6224
- 戸沢遊覧がとう園**
甲府市向町506-1
☎055-232-3584
- 栗石園**
甲府市愛宕町266-2
☎055-254-0125
- 早川園**
甲府市善光寺2-4-15
☎055-233-5495
- 善光園(販売のみ)**
甲府市善光寺2-15-10
☎055-233-6489
- こうげん**
甲府市善光寺2775
☎055-233-6611

いちご狩り情報

1月中旬から始まります。
甲府南ICから約5分
JA甲府市
☎055-223-9609(平日) FAX:055-223-9615

- ススキ農園**
甲府市小曲町1385
☎090-5323-2991
- 石原農場**
甲府市小曲町1337
☎090-7840-1486
- 観光莓山城園**
甲府市下今井町178
☎090-1432-5447
- 出井農園**
甲府市小曲町1277
※休園の場合がありますのでHPをご確認ください。
http://www.del15en.com
- 石原観光農園**
甲府市小曲町1401
☎090-4942-6934
- 増田保苗園**
甲府市小曲町1245
☎090-3478-7619
- シミスファーム**
甲府市小曲町1361
☎090-8841-5508
- 小林園**
甲府市中町230
☎090-3085-5549



武田氏館跡、現在の武田神社の北の山城。武田氏3代にわたって重要な役割を果たし、遺構の保存状態もよく国の史跡指定。信玄公誕生の地で史跡も多い。

- 横翠寺八ッ停 (0:10) →
- 要害温泉登山口 (0:30) →
- 要害山 (0:15) →
- 最初分歧 (0:35) →
- 丁字路 (0:15) →
- 深草観音 (0:15) →
- 岩堂峠 (0:15) →
- 横翠寺八ッ停 (0:50) →



もつと、もつと、
甲府



深草観音
岩壁の観音堂
要害山南麓の甲斐国観音霊場六番札所。別名、岩堂観音。創建は746年。遊歩道沿いの大岩のなかに十六観音などがまつられている。大祭は4月17日。

湯村山コース

所要時間(上り)
約30分

- 湯村山山頂 (0:30) →
- 白山 (0:50) →
- 千代田湖畔真良の森 (0:10) →
- 遊歩道案内図

信玄公の「のろし台」があったと言われる湯村山。山頂には水の湧く井戸。「厄地藏さん」の地で、それぞれに伝説を秘めた湯があり、散策に温泉めぐりを加えたい。



富士河口湖町

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図及び5万分1地形図を使用した。(承認番号 平25関使、第21号)

15:22-19:35	乗車人数055	収容人員
	-3211	120
	-2611	50
	-8444	釣りのみ
	-7308	40
	-8731	26
	-5513	20
	-7351	42
	-11331	90
	-3361	53
	-1045	210
	-9351	16
	-1122	60
	-11327	70
	-5586	159
	-9111	100
	-6300	76
	-2511	108
	-8181	110
	-5489	217
	-0777	69
	-31045	299
	-5511	42

15:22-19:35	乗車人数055	収容人員
	3-8111	420
	4-3111	250
	3-2416	142
	4-1111	160
	2-3308	110
	2-0388	100
	2-5105	50
	3-2878	50
	2-2232	45
	2-1355	60
	2-6644	41
	1-3531	25
	2-2882	25

(甲府市内)	乗車人数055	収容人員
	4-3131	26
	3-7110	206
	2-7271	30
	8-7727	40
	3-3011	112
	6-7001	165

A

金峰山

五里山
1673.2

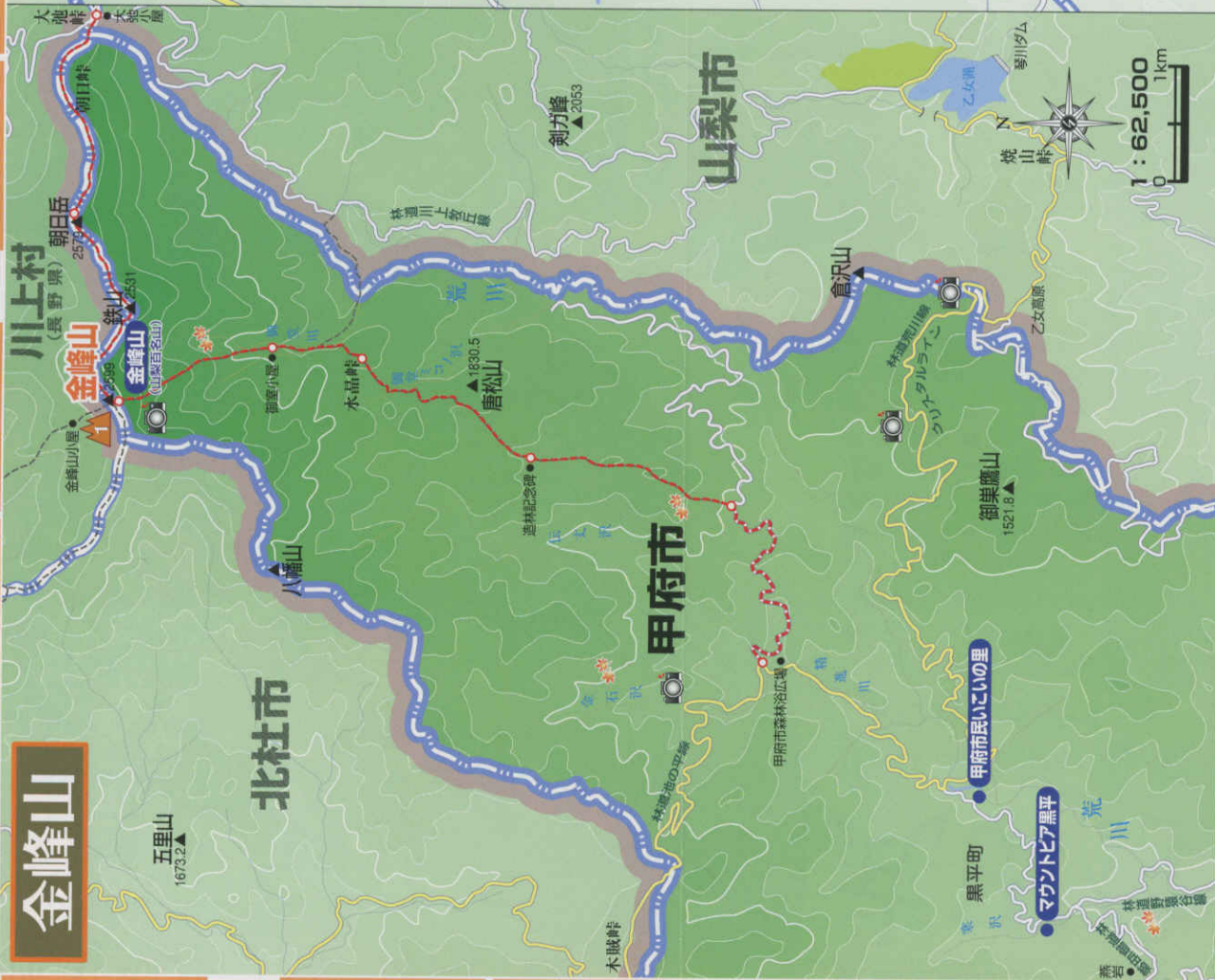
北杜市

甲府市

山梨市

御岳昇仙峡

B



川上村

朝日岳
2577

金峰山
1673.2

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

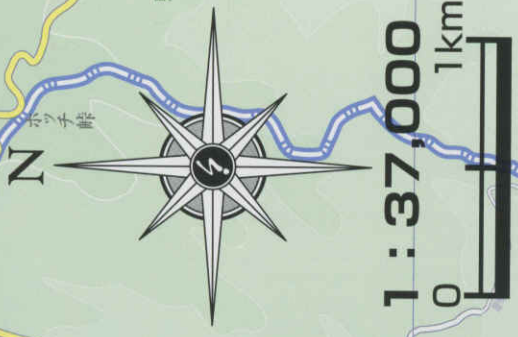
御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

C



1 : 37,000

D



太刀岡山

1295.3
(山梨百名山)

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

御岳昇仙峡

鷹の巣山

570

長瀬橋

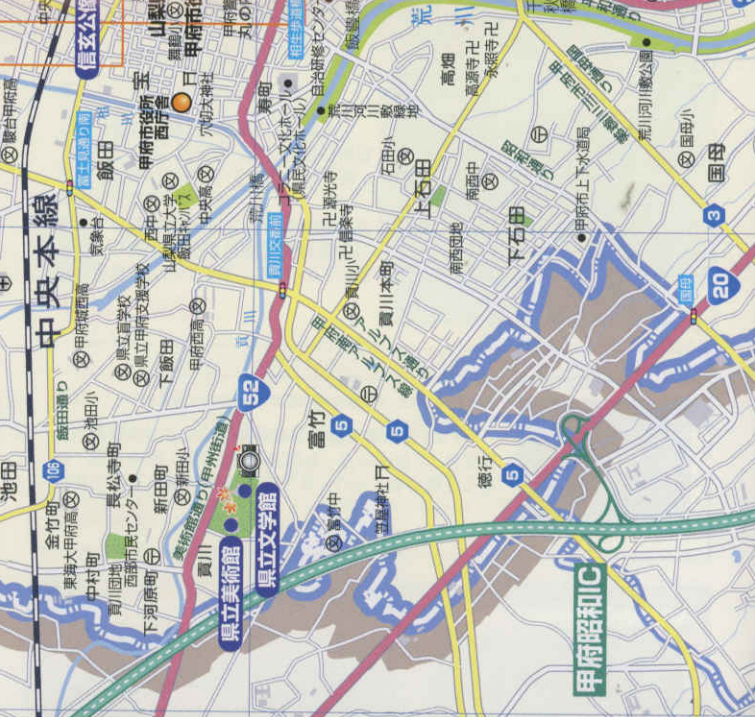
市営駐車場

荒川

荒川

荒川

荒川



甲府の感動・特選コース

甲府遊歩

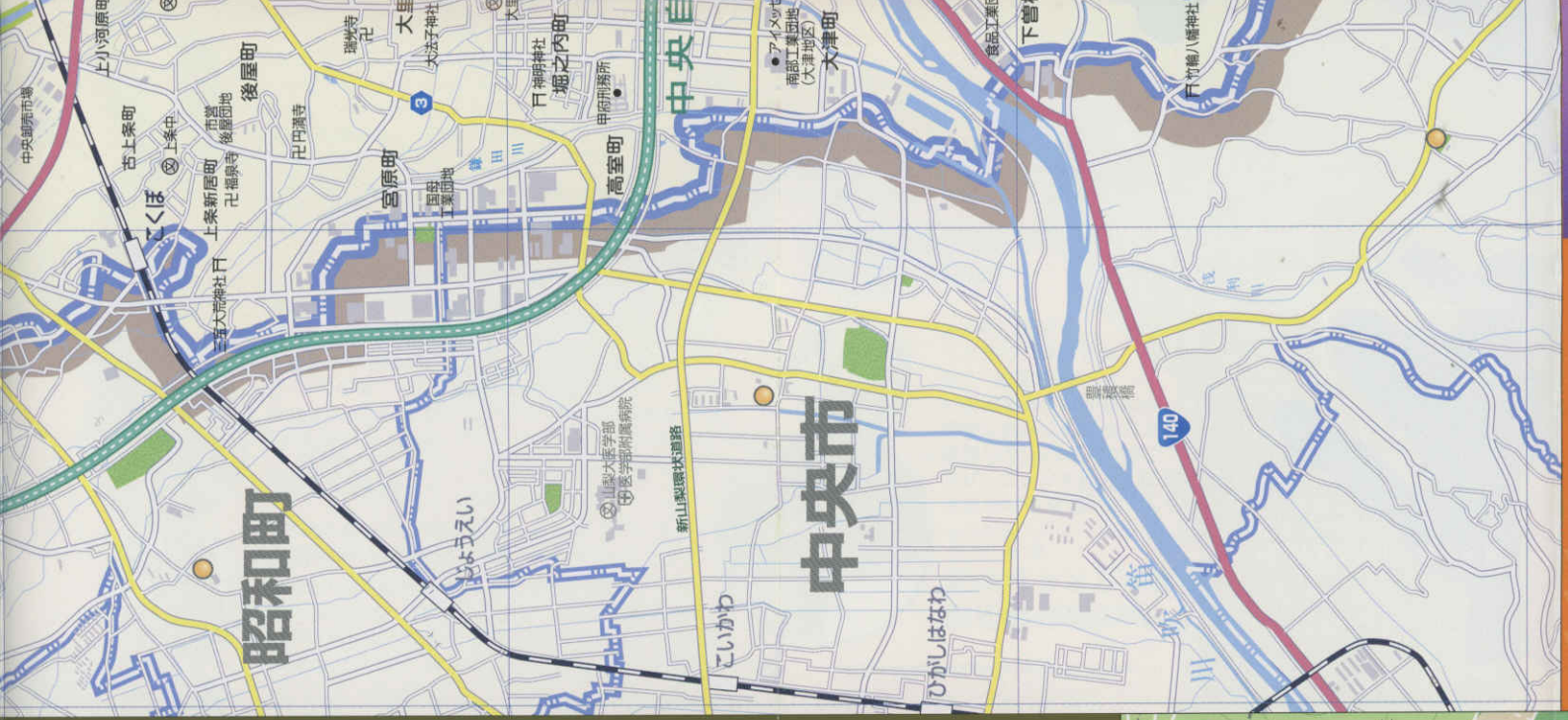
武田信玄公の歴史の里、城文学者の愛した景色、城下町・小江戸甲府と文化の伝統。ドラマのように散策したい。

コース 1
「山裾古(いにしえ)の道と武田氏ゆかりの史跡」



コース 1 山裾古の道と武田氏ゆかりの史跡







● 甲府駅南口 信玄公像
甲府の観光の出发点。案内板が迎えしてくれる。



● 甲府城跡 (舞鶴城公園)
甲府城跡。鶴が羽根を広げたような優雅な姿であることから、別名・舞鶴城と呼ばれる。



● みはらし台
甲府盆地の街並みと、南アルプスが絶景。



● 大泉寺
信玄公の父・武田信虎の菩提寺で墓がある。



● 護国神社
甲府藩主・榊沢吉保の菩提寺(永應寺)のあった場所。

コース2 「太宰治・坂本龍馬ゆかりの地」

○コースの概要
太宰治が甲府に住んだのは昭和13年のこの翌年の14年1月、井伏鱒二の仲人として結婚し、御崎町に新家庭をもった。この地に「太宰治橋居(きょうきょう)跡」の碑がある。湯村温泉も散策した。甲府空襲にも遭った。また、清運寺には、龍馬のいいいすけの墓もある。

- 信玄公像 5'
- 舞鶴城公園 10'
- 長禪寺 10'
- みはらし台 10'
- 華光院 15'
- 大泉寺 10'
- 河尻塚 10'
- 武田信玄公墓 1'
- 日光院 10'
- 護国神社 10'
- 武田神社 15'

コース3 「甲府市街散策」

○コースの概要
城下町甲府の歴史を訪ね、伝統の息づく中心街を散歩するコース。甲府城は別名・舞鶴城。築城当時のように石垣、稲荷櫓などが復元され、桜の名所。中心街には情報発信のおしゃれな店、土産店、食事どころが揃う。

甲府 桜屋
現代風芝居小屋
明治から昭和初期の芝居小屋「桜屋」を復活させた現代風芝居小屋。「芸術と食を一緒に楽しめる空間。」
☎055-233-2031
■甲府中央1-1-7

コース3 甲府市街散策

○コースの概要
城下町甲府の歴史を訪ね、伝統の息づく中心街を散歩するコース。甲府城は別名・舞鶴城。築城当時のように石垣、稲荷櫓などが復元され、桜の名所。中心街には情報発信のおしゃれな店、土産店、食事どころが揃う。

コース1 山裾古の道と武田氏ゆかりの史跡

甲府の感動・特選コース

甲府遊歩

武田信玄公の歴史の里、文学者の愛した景色、城下町・小江戸甲府と文化の伝統。ドラマのように散策したい。

コース1 「山裾古(いにしえ)の道と武田氏ゆかりの史跡」

○コースの概要

甲府駅南口から甲府城、武田神社まで、愛宕山の麓を辿る片道5km。甲府の誕生、戦国時代から江戸時代の歴史を探访するコース。甲府盆地を一望しつつ、展望広場では南アルプスと向かい合いたい。

●甲府駅南口 信玄公像

甲府の観光の出発点。案内板が迎えてくれる。



銅像の高さは3.1m。

●甲府城跡 (舞鶴城公園)

甲府城跡。鶴が羽根を広げたような優雅な姿であることから、別名・舞鶴城と呼ばれる。



●みはらし台

甲府盆地の街並みと、南アルプスが絶景。



●大泉寺

信玄公の父・武田信虎の菩提寺で墓がある。



●護国神社

甲府藩主・柳沢吉保の菩提寺(永慶寺)のあった場所。



信玄公像	舞鶴城公園	長禅寺	みはらし台	華光院	大泉寺	河尻塚	武田信玄公墓	円光院	護国神社	武田神社
5'	10'	10'	15'	10'	10'	1'	10'	10'	15'	

コース2 「太宰治・坂本龍馬ゆかりの地」

○コースの概要
太宰治が甲府に住んだのは昭和13年のこと。翌年の14年1月、井伏鱒二の仲人で結婚し、御崎町に新家庭をもった。この地に「太宰治僑居(きょうきょ)跡」の碑がある。湯村温泉も散策した。甲府空襲にも遭った。また、清運寺には、龍馬のいいなずけの墓もある。

コース3 「甲府市街散策」

○コースの概要
城下町甲府の歴史を訪ね、伝統の息づく中心街を遊歩するコース。甲府城は別名・舞鶴城。築城当時のように石垣、稲荷櫓などが復元され、桜の名所。中心街には情報発信のおしゃれな店、土産店、食事どころが揃う。

もっとなんか、甲府

現代風芝居小屋 桜座

明治から昭和初期の芝居小屋「桜座」を復活させた現代風芝居小屋。芸術と食を一緒に楽しめる空間。

☎055-233-2031
■甲府中央1-1-7

コース2 太宰治・坂本龍馬ゆかりの地



コース3 甲府市街散策

